

関連資料

本調査のアンケート用紙

2009 年富山県内企業貿易実態調査 調査票

貴社名 (貴事務所名)			
代表者名			
記入者名		記入者の 所属部署名	
電話番号		FAX 番号	

1. 貴社の概要について

以下にご回答いただいた内容はすべて統計的に分析処理されるため、社名等の公表はいたしません。

【設問 1】以下、貴社の概要についてお尋ねします。

(1) 貴社の業種(単一回答:以下から最も当てはまる分類ひとつを選択し、チェック印をつけてください)

☐ 製造業

☐ 1 食料品

☐ 2 繊維・衣料

☐ 3 木材・紙製品

☐ 4 化学

☐ 5 医療品・化粧品

☐ 6 ゴム製品

☐ 7 窯業・土石

☐ 8 鉄鋼

☐ 9 非鉄金属

☐ 10 金属製品

☐ 11 一般機械・部品

☐ 12 電気電子機器部品

☐ 13 自動車・部品

☐ 14 その他輸送機械

☐ 15 精密機器

☐ 16 家具・住宅部材

☐ 17 プラスチック製品

☐ 18 その他製造業

☐ 建設業

☐ 卸売業(主要取扱製品:

)

☐ 小売業(主要取扱製品:

)

☐ サービス業(主要サービス分野:

)

(2) 貴社の資本金 _____ 百万円

(3) 貴社の従業員数 _____ 人

(4) 貴社の 2008 年度の貿易実績

☐ 1 実績あり→【設問 2】へ

☐ 2 実績なし→ アンケートは以上で終了です。

2. 輸入について

【設問 2】貴社の 2008 年度の輸入実績(間接輸入も含む)は以下のどれに該当しますか。

☐ 1 実績あり→ (1) へ

☐ 2 実績なし→【設問 3】へ

(1) 貴社の輸入品の種別は以下のどれに該当しますか。

□1 製品

□2 半製品・部品

□3 原材料

(2) 貴社の輸入形態の種別は以下のどれに該当しますか。(複数回答可)

□1 直接輸入

☐2 間接輸入（商社等を通じての輸入）

□3 直接輸入と間接輸入の併用→金額比率（概算）

(直接輸入：間接輸入= (:)

(3) 貴社の主要輸入元はどこですか。(複数回答可)

アジア (中国除く)	□1 韓国 □2 北朝鮮 □3 台湾 □4 シンガポール □5 インドネシア □6 マレーシア □7 フィリピン □8 タイ □9 ベトナム □10 ミャンマー □11 インド □12 スリランカ □13 その他（ ）
中国	□14 ＊具体的に □a 遼寧省 □b 黒竜江省、吉林省 □c 江蘇省 □d 広東省 □e 北京 □f 上海 □g 香港 □h その他（ ）
欧州	□15 アイルランド □16 英国 □17 イタリア □18 ドイツ □19 フランス □20 ベルギー □21 オランダ □22 スイス □23 ノルウェー □24 ロシア □25 その他（ ）
北米	□26 米国 □27 カナダ
中南米	□28 メキシコ □29 ブラジル □30 チリ □31 その他（ ）
オセアニア	□32 オーストラリア □33 ニュージーランド □34 その他（ ）
その他の地域	□35 中近東 □36 アフリカ □37 その他（ ）

(4) 貴社の2008年度の輸入実績は以下のどれに該当しますか。(①～③それぞれについてお答えください)

①金額

☐a100 万円未満 ☐b100 万超～500 万円 ☐c500 万超～1,000 万円

☐ d1,000 万超～5,000 万円 ☐ e5,000 万円超～1 億円 ☐ f 1 億超～5 億円

☐g5 億超～10 億円 ☐h10 億超～50 億円 ☐i50 億円超

②数量

☐1 1ト未満 ☐2 1ト以上 10ト未満 ☐3 10ト以上 50ト未満

☐4 50 ト以上 100 ト未満 ☐5 100 ト以上 500 ト未満 ☐6 500 ト以上 1,000 ト未満

☐7 1,000 トン以上 5,000 トン未満 ☐8 5,000 トン以上 10,000 トン未満 ☐9 10,000 トン以上

③頻度

☐a 年間 6 回以下 ☐b 年間 7～12 回 ☐c 年間 13～24 回 ☐d 年間 24 回以上

(5) 2008年度の貴社の輸入量(数量)は、前年度(2007年度)に比べどのように変化しましたか。

☐1 増加した ☐2 減少した ☐3 特に変化しなかった

(6) 上記(5)で増加したあるいは減少したとお答えの場合、その理由は以下のどれに該当しますか。

①増加した場合

□1 輸入価格の低下 □2 輸入品の品質向上→国・地域（ ）

□3 国内需要の拡大 □4 国内調達の困難化

□5 海外拠点における生産比率の拡大→国・地域（ ）

☐6 その他 ()

□1 輸入価格の下げ止まり □2 輸入品の品質難→国・地域（ ）
□3 国内需要の縮小 □4 国内調達の易化
□5 輸入元企業、海外関連企業の経営不振→国・地域（ ）
□6 その他（ ）

☐1 為替リスク ☐2 国内市場の低迷 ☐3 品質のばらつき
☐4 安定供給の確保が困難 ☐5 新規取引相手の発掘が困難 ☐6 高額な輸送コスト
☐7 同業他社の競合 ☐8 貿易実務者の不足 ☐9 言語 ☐10 取引先の信用情報の不足
☐11 その他（ ）

□1 行っている→国・地域 () □2 行っていない

アジア (中国除く)	☐ 1 韓国 ☐ 2 北朝鮮 ☐ 3 台湾 ☐ 4 シンガポール ☐ 5 インドネシア ☐ 6 マレーシア ☐ 7 フィリピン ☐ 8 タイ ☐ 9 ベトナム ☐ 10 ミャンマー ☐ 11 インド ☐ 12 スリランカ ☐ 13 その他（ ）
中国	☐ 14 中国 ＊具体的に ☐ a 遼寧省 ☐ b 黒竜江省、吉林省 ☐ c 江蘇省 ☐ d 広東省 ☐ e 北京 ☐ f 上海 ☐ g 香港 ☐ h その他（ ）
欧州	☐ 15 アイルランド ☐ 16 英国 ☐ 17 イタリア ☐ 18 ドイツ ☐ 19 フランス ☐ 20 ベルギー ☐ 21 オランダ ☐ 22 スイス ☐ 23 ノルウェー ☐ 24 ロシア ☐ 25 その他（ ）
北米	☐ 26 米国 ☐ 27 カナダ
中南米	☐ 28 メキシコ ☐ 29 ブラジル ☐ 30 チリ ☐ 31 その他（ ）
オセアニア	☐ 32 オーストラリア ☐ 33 ニュージーランド ☐ 34 その他（ ）
その他の地域	☐ 35 中近東 ☐ 36 アフリカ ☐ 37 その他（ ）
	☐ 38 今のところ未定

– 81 –

(2) 貴社の輸出形態の種別は以下のどれに該当しますか。

- ☐1 直接輸出 ☐2 間接輸出（商社等を通じての輸出）
☐3 直接輸出と間接輸出の併用→金額比率（概算）
（直接輸出：間接輸出＝ ）

(3) 貴社の主要輸出先はどこですか。（複数回答可）

アジア (中国除く)	☐ 1 韓国 ☐ 2 北朝鮮 ☐ 3 台湾 ☐ 4 シンガポール ☐ 5 インドネシア ☐ 6 マレーシア ☐ 7 フィリピン ☐ 8 タイ ☐ 9 ベトナム ☐ 10 ミャンマー ☐ 11 インド ☐ 12 スリランカ ☐ 13 その他（ ）
中国	☐ 14 中国 *具体的に ☐ a 遼寧省 ☐ b 黒竜江省、吉林省 ☐ c 江蘇省 ☐ d 広東省 ☐ e 北京 ☐ f 上海 ☐ g 香港 ☐ h その他（ ）
欧州	☐ 15 アイルランド ☐ 16 英国 ☐ 17 イタリア ☐ 18 ドイツ ☐ 19 フランス ☐ 20 ベルギー ☐ 21 オランダ ☐ 22 スイス ☐ 23 ノルウェー ☐ 24 ロシア ☐ 25 その他（ ）
北米	☐ 26 米国 ☐ 27 カナダ
中南米	☐ 28 メキシコ ☐ 29 ブラジル ☐ 30 チリ ☐ 31 その他（ ）
オセアニア	☐ 32 オーストラリア ☐ 33 ニュージーランド ☐ 34 その他（ ）
その他の地域	☐ 35 中近東 ☐ 36 アフリカ ☐ 37 その他（ ）

(4) 貴社の 2008 年度の輸出実績は以下のどれに該当しますか。(①～③それぞれについてお答えください)

①金額

- ☐a100 万円未満 ☐b100 万超～500 万円 ☐c500 万超～1,000 万円
☐d1,000 万超～5,000 万円 ☐e5,000 万円超～1 億円 ☐f 1 億超～5 億円
☐g 5 億超～10 億円 ☐h10 億超～50 億円 ☐i50 億円超

②数量

- ☐1 1 ト未満 ☐2 1 ト以上 10 ト未満 ☐3 10 ト以上 50 ト未満
☐4 50 ト以上 100 ト未満 ☐5 100 ト以上 500 ト未満 ☐6 500 ト以上 1,000 ト未満
☐7 1,000 ト以上 5,000 ト未満 ☐8 5,000 ト以上 10,000 ト未満 ☐9 10,000 ト以上

③頻度

- ☐a 年間 6 回以下 ☐b 年間 7～12 回 ☐c 年間 13～24 回 ☐d 年間 24 回以上

(5) 2008 年度の貴社の輸出品（数量）は、前年度（2007 年度）に比べてどのように変化しましたか。

- ☐1 増加した ☐2 減少した ☐3 特に変化しなかった

(6) 上記（5）で増加したあるいは減少したとお答えの場合、その理由は以下のどれに該当しますか。

①増加した場合

- ☐1 価格競争力の向上 ☐2 輸出先需要の拡大→国・地域（ ）
☐3 関連企業の海外進出→国・地域（ ）
☐4 生産ライン等の維持 ☐5 内需不振による輸出シフト ☐6 その他（ ）

②減少した場合

- ☐1 価格競争力の低下 ☐2 輸出先の需要縮小→国・地域（ ）
☐3 関連企業の海外からの撤退→国・地域（ ）
☐4 生産ライン等の縮小 ☐5 輸出先企業の経営不振 ☐6 その他（ ）

- (7) 貴社では輸出に関してどのようなことが課題となっていますか。(複数回答可)
- ☐1 為替リスク ☐2 相手国の市場情報の不足 ☐3 相手国の輸入規制
☐4 ラベリング等の規格情報 ☐5 新規取引相手の発掘が困難 ☐6 高額な輸送コスト
☐7 同業他社の競合 ☐8 貿易実務者の不足 ☐9 言語 ☐10 取引先の信用情報の不足
☐11 その他 ()

- (8) 貴社は加工再輸出(加工・組立てのため原材料等を輸入し、製品の再輸出)を行っていますか。
- ☐1 行っている→国・地域 () ☐2 行っていない

- (9) 現在の輸出先以外で、今後どの国・地域への輸出を希望しますか。(複数回答可)

アジア (中国除く)	☐ 1 韓国 ☐ 2 北朝鮮 ☐ 3 台湾 ☐ 4 シンガポール ☐ 5 インドネシア ☐ 6 マレーシア ☐ 7 フィリピン ☐ 8 タイ ☐ 9 ベトナム ☐ 10 ミャンマー ☐ 11 インド ☐ 12 スリランカ ☐ 13 その他 ()
中国	☐ 14 中国 *具体的に ☐ a 遼寧省 ☐ b 黒竜江省、吉林省 ☐ c 江蘇省 ☐ d 広東省 ☐ e 北京 ☐ f 上海 ☐ g 香港 ☐ h その他 ()
欧州	☐ 15 アイルランド ☐ 16 英国 ☐ 17 イタリア ☐ 18 ドイツ ☐ 19 フランス ☐ 20 ベルギー ☐ 21 オランダ ☐ 22 スイス ☐ 23 ノルウェー ☐ 24 ロシア ☐ 25 その他 ()
北米	☐ 26 米国 ☐ 27 カナダ
中南米	☐ 28 メキシコ ☐ 29 ブラジル ☐ 30 チリ ☐ 31 その他 ()
オセアニア	☐ 32 オーストラリア ☐ 33 ニュージーランド ☐ 34 その他 ()
その他の地域	☐ 35 中近東 ☐ 36 アフリカ ☐ 37 その他 ()
	☐ 38 今のところ未定

4. 利用港湾について

【設問4】以下、利用港湾の2008年度の輸入実態について、おたずねします。

- (1) 輸入で利用した港は、どこですか。(複数回答可)
- ☐1 伏木富山港(伏木港・富山港・富山新港) ☐2 名古屋港 ☐3 東京港 ☐4 横浜港
☐5 大阪港 ☐6 神戸港 ☐7 金沢港 ☐8 七尾港 ☐9 直江津港 ☐10 その他 ()
- (2) 輸入実績(重量)のうち、地元港である伏木富山港を利用した割合は、どれぐらいですか。
- ☐1 実績なし ☐2 10%未満 ☐3 10%以上 20%未満 ☐4 20%以上 30%未満
☐5 30%以上 40%未満 ☐6 40%以上 50%未満 ☐7 50%以上 60%未満
☐8 60%以上 70%未満 ☐9 70%以上 80%未満 ☐10 80%以上 90%未満
☐11 90%以上 100%未満 ☐12 100%
- (3) 伏木富山港以外の港、空港も利用して輸入している場合、伏木富山港の2008年度の利用比率は、前年度(2007年度)に比べどのように変化しましたか。
- ☐1 増加した(理由:)
☐2 減少した(理由:)
☐3 特に変化しなかった

(3) 混載コンテナ形態の貨物について、伏木富山港以外の港を利用している場合、その理由は、次のどれに該当しますか。

- ☐1 利用したい航路がない
- ☐2 他の港を利用した方が便利である。
- ☐3 他の港と比べ、トータルコスト（海上運賃、陸送費、保管費等を含む）が高い
- ☐4 荷主が他の港を指定している
- ☐5 貿易窓口である本社、親会社等が伏木富山港以外を選択している
- ☐6 商社経由の間接貿易であり、商社が他の港を選択している
- ☐7 その他（ ）

【設問 7】 2008 年度に伏木富山港を利用した事業所の方におたずねします。

(利用実績がない場合は、記載不要)

(1) 伏木富山港を利用した理由は、どれに該当しますか。(複数回答可)

- ☐1 荷主が伏木富山港を指定している
- ☐2 貿易窓口である本社、親会社等が伏木富山港を選択している
- ☐3 商社経由の間接貿易であり、商社が伏木富山港を選択している
- ☐4 必要な港湾設備が整っている
- ☐5 現状の航路、寄港頻度でも利便性が高い
- ☐6 他港利用と比較して、トータルコスト（海上運賃、陸送費、保管費等を含む）が安い
- ☐7 港までの距離が近いこと、国内の交通事情等に左右されない
- ☐8 船混みやコンテナターミナル内の混雑が少なく、貨物の受取り、船積みまでの時間が早い
- ☐9 通関時間が早い
- ☐10 その他（ ）

(2) 伏木富山港以外の港も利用した場合、一部しか伏木富山港を利用しなかった理由は、どれに該当しますか。(重複回答可)

- ☐1 荷主が他の港を指定している
- ☐2 貿易窓口である本社、親会社等が他の港を選択している
- ☐3 商社経由の間接貿易であり、商社が他の港を選択している
- ☐4 利用したい航路がない
- ☐5 利用したい航路の便数が少ない
- ☐6 海上輸送時間が長い
- ☐7 他の港と比べ、トータルコスト（海上運賃、陸送費、保管費等を含む）が高い
- ☐8 通関・検疫等に時間がかかる
- ☐9 港湾設備の不足や不備（具体的に： ）
- ☐10 その他（ ）

【設問 8】 2008 年度に伏木富山港を全く利用していない事業所の方におたずねします。

(利用実績がある場合は、記載不要)

(1) 2008 年度以前を含めた伏木富山港の利用実績はどれに該当しますか。

- ☐1 2008 年度の利用実績はなかったが、以前は利用していた
- ☐2 これまでに利用したことはない

☐1 荷主が他の港を指定している
☐2 貿易窓口である本社、親会社等が他の港を選択している
☐3 商社経由の間接貿易であり、商社が他の港を選択している
☐4 利用したい航路がない
☐5 利用したい航路の便数が少ない
☐6 海上輸送時間が長い
☐7 他の港と比べ、トータルコスト（海上運賃、陸送費、保管費等を含む）が高い
☐8 通関・検疫等に時間がかかる
☐9 港湾設備の不足や不備（具体的に： ）
☐10 その他（ ）

☐1 荷主、貿易窓口である本社、親会社、商社等による意思決定
☐2 海上運賃、陸送費、保管費等の引き下げ
☐3 海上輸送時間（日数）の短縮
☐4 通関・検疫等の充実
☐5 既存航路の増便〔現状〕
 ☐a 韓国（釜山）航路〔週４便〕
 ☐b 中国（青島・大連）航路〔週１便〕
 ☐c 中国（上海）航路〔週１便〕
 ☐d 中国・韓国（釜山・光陽・大連・青島など）航路〔週３便〕
 ☐e ロシア沿海地方（ポストーチヌィ・ウラジオストク）航路〔月２便〕
☐6 新規航路の開設（国・都市名、頻度等： ）
☐7 港湾設備の機能強化（具体的に： ）
☐8 その他（ ）

5. 富山県貿易関係企業名簿への掲載内容に関するご質問

※英文社名は必ずご記入下さいます様、宜しくお願い致します。

	日本語		英語
会社名（事務所名）	冒頭より転載いたします（記載不要）		
郵便番号			
住所	(フリガナ) トヤマケン	Toyama -ken	
	富山県		
電話番号			
FAX 番号			
Email			
ホームページアドレス			
設立年	西暦	年	
従業員数	設問1より転載いたします（記載不要）		
資本金	設問1より転載いたします（記載不要）		
業種	設問1より転載いたします（記載不要）		
代表者名	(フリガナ)	(英語) ☐ Mr. ☐ Ms.	
-	(漢字)		
取扱商品			
輸入品目	品目名	品目名（英語）	対象国（日本語のみ）
	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
輸出品目	品目名	品目名（英語）	対象国（日本語のみ）
	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		
海外事務所の有無	☐ 有 ☐ 無 事業所とは、現地法人（独資、合弁、合資を含む）、支店・支社、駐在員事務所を指します。		
海外事務所の所在国			
海外代理店の有無	☐ 有 ☐ 無		
海外代理店の所在地			
独自の技術・製品の PR （200 字迄）			

掲載された企業の皆様には、名簿を1部無料にて送付いたします。ありがとうございました。